

初議会、逮捕3議員の出处進退を厳しく迫る
～「政治倫理確立決議」を可決

5月14日、さいたま市議選後初の臨時議会が開かれました。私にとっても正に初体験議会。しかし、議会初日は公選法違反で3名の議員が逮捕による欠席の中開会されるという波乱の幕開けとなりました。3名とも供応接待や買収など、公平な選挙にはあってはならない違反。黒田議員からは当日辞職願いが出されましたが、河野議員は2週間ほど前の逮捕で容疑事実を認めているにもかかわらず議席に居座ったままなど、こういったことがまかり通っては、一体議会というところは何なのだと市民の皆さんが不信を抱いても当然だと思います。結局、逮捕議員に対して「速やかに自らの出处進退」を明らかにすべきとの強い内容を持った「政治倫理の確立をめざす決議」が全回一致で採択され、私もこれに＜賛成＞を致しました。直接、残る河野・帆足両氏に対して辞職を迫る「辞職勧告決議案」（共産党・自治ネット共同提案）も提出されましたが、私は河野氏については＜賛成＞、帆足氏については議会前日の逮捕で事情をつかみきれなかったことから＜反対＞しました。議員の身分は、選挙で選ばれたという意味で重いので、裁判で有罪が確定しなければ辞めさせられないことになっています。しかし、買収の容疑を認めている議員が、裁判が終わるまで議会にも出席せず税金から報酬をもらい続けるというのは断然おかしい話です。両議員には、よく胸に手をあてて「出处進退」を考えていただきたいと思いません。

○所属会派は民主党、委員会は保健福祉に

高木まりは、民主党会派に所属することになりました。会派は3人、いずれも今回、選挙を民主党公認で闘った仲間です。経験豊富な田中通之団長、勉強熱心な先輩・高柳俊哉議員とともに、是々非々の立場でしっかりがんばっていきたいと思います。委員会は、保健福祉委員会に決まりました。学童保育や保育所の問題、高齢者問題など、選挙中に訴えさせていただいたことに取り組むには、ここしかありません。この委員会は11人の委員のうち半分の5人が女性で、皆パワフルです。良い議論ができるのではと期待しています。

○正副議長決まる

今回は逮捕者への対応というイレギュラーな課題が持ち上がりましたが、基本的に選挙後最初の臨時議会では、正副議長、そして委員会の正副委員長を決めることが主な議題となります。議長は最大会派「自民党・彩政会」から長谷川浄意議員が、副議長は第2会派「公明党」から田口邦雄議員が選出されました。私たちの民主党会派では、両名に公平な議会運営などを求めた要望書を手渡し、同意する旨の確約を得ました。

○次は6月は定例議会

次は、6月の定例議会です。11日に招集される予定です。新人の議員にも質問のチャンスがあるので、張り切って準備をしたいと思います。近くなって詳しい日程がわかりましたら、皆さんにお知らせ致します。ぜひ傍聴にいらしてください。

○素朴な疑問

初議会が深夜議会に。でも、どうしてそんなに遅くなるの？

私にとっての初議会は、深夜議会になりました。これは今回、逮捕者をめぐる対応で混乱が生じた為。14日10時に招集された議会が終わったのは、翌日の深夜1時半。しかし、新人の目を見た議会は、どうしてそんなにも時間がかかるのか理解に苦しむ議会でした。民間企業なら、3～4時間で済ませることができるのではないかと思います。もっと効率的な運営をすべきと強く感じました。因みに、議員は議会に出席すると一日当たり5000円の「費用弁償」という手当がつくと知り驚きました。二日にまたがると、日付をまたいで少ししかやらなくても、倍の10000円が税金から支出されます。幸いどの議員も、その5000円より、きちんと早く終わらせたいと思っているようなので、税金のムダ遣いを減らす為にも、ちゃんとやっても早く終わる議会運営へと改革していかなければならないと思います。